

平成30年2月25日
西部農林振興センター益田事務所農業普及部

標 題	平成29年度 石西地域水田農業推進研修会 ～ほ場管理を楽にしよう研修会～を開催！
-----	---

(ダイジェスト)

2月19日(月)、益田合同庁舎大会議室において平成29年度 石西地域水田農業推進研修会を開催しました。「ほ場管理を楽にしよう」というテーマのもと、水田農業経営を行う集落営農組織や、中山間地域直接支払協定集落、各関係機関等約80名が出席し、今後の水田農業経営を持続的に行う方法を考えるきっかけとなりました。

石西地域農林振興協議会では、管内の集落営農組織等が抱える課題解決の一助となるよう、毎年、秋季～冬季に研修会を開催しています。

平成30年より、生産調整の見直しや米の直接支払交付金が廃止されるなど、水田農業をめぐる情勢は大きく変動することとなり、産地の生き残りをかけた対応は待ったなしの状況となっています。こうした状況の中で、地域の担い手である集落営農組織等は高齢化が進行しており、畦畔を含めた水田ほ場管理の負担は年々厳しさを増してきている状況となっています。

そこで、2月19日(月)に益田合同庁舎大会議室において平成29年度 石西地域水田農業推進研修会を開催しました。島根県農業技術センターより「電動ラジコン式草刈り機の紹介」について、有限会社 だるま製紙所より「センチピードグラスの吹き付け処理による畦畔管理」と普及部からは管内での導入事例について、有限会社 丸山製作所よりマルチコプター等の「水田農業における省力的防除機の紹介」について、また平成30年よりJAしまねが導入する低コスト資材について情報提供がありました。

当日は、関係者合わせ約80名の出席があり、少しでもほ場管理を楽に行うため熱心に耳を傾けていました。当日の研修会アンケートの結果では、解決したい課題として、この研修会のテーマであった「省力低コスト技術」のほか、「鳥獣被害対策」、「後継者確保」などが上位にあがり、今後の課題解決が急務となっています。

水田農業をめぐる情勢が大きく変わっていく中であっても、普及部としては、地域農業の担い手等への支援を引き続き行っていきます。

